# ep24

**说话人1** *00:54*: 1人きり君の存在ができた。よし、次。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 02:08 あれだろう。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 02:09 早く。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 02:10 しろよ。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 02:23 それ。昔。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 02:24 変わった？何が？なんか男らしくなったって言えば？ 说话人1 02:37 そうか。嫌だった。いや。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 02:41 疲れてるかも。でも、もう大丈夫。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 03:34 取れねえ仕方が。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 03:35 気持ちはオムレツ。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 03:37 でしょ？ 说话人2 03:45 吹っ切ったんだ。吉永みゆきのこと。まあね。まあ、新しい声でもした方がいいよ。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 03:52 あそこのまだの人に言われたくないな。万能スプーンが。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 03:58 すいません。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 04:10 参ったな。俺。また強くなってんのかな。とりあえず封印と。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 04:16 あれ。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 04:20 あれで。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 04:21 きない。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 04:30 なんなんだ？こいつら。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 04:30 手を貸してあげましょうか？ 说话人3 04:43 誰がアンデッドの中に？ 说话人2 04:45 私も困るのよ。こんなやつらにうろつかれては、お前はやる。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 05:07 なんなんだ、あんたたち油断するな。なんでって、思いっきりなんで殺すんだよ。知ってるのか？あの女だ。栗原慎。あまねちゃんの父親が死ぬ時、家族のことを託された。それが相川一が人間を守る理由か？はい。あいつは人間の愛情に興味を持っています。しかし、あの親子以外の人間の命には興味がないということだろう。理由はどうあれ、奴はアンテッドだ。いつ俺たちの敵になるか分からん。でも、俺は信じたいんです。信じたい。マジ。不死身ってことはライダーシステム以外でお前らを封印する方法はない。だが、この銃で打ち出す細胞活性炭だ。お前らの動きを封じることができる。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 07:07 面白いことをしているのね。手を組みましょう。か。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 07:31 つもりはな。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 07:33 いさあ、遠慮しないで、続けて、続けて。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 08:02 あなたのテリトリーを犯。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 08:04 すつもりはなかったの。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 08:19 ハンデとあのか、勝手にやってくれ。戦いは嫌いなんだ。お前も正体見せたらどうなんだ？面倒くせえなあ。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 09:46 うん、 说话人2 10:03 いいこと思いついた。あいつとカリスを噛み合わせれば、カリスの正体を知ることができる。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 10:13 確かに見たんです。そいつら封印できなくて。それにアンデッドと戦う人達まで出てきて、アンデッドと戦う。はい。対アンデッド用の武器を持ってました。とにかくさっき逃げたやつら。俺が封印します。俺の好きにです。お前、責任感で言ってるわけじゃないだろう。そうなのか？ただ状況ってとふにしてカードが欲しいだけだ。武器を持ってアンデッドと戦う人間だと、本当なら心強いですね。戦っているのが俺達だけじゃないとすれば、仲間になれるかもしれない。アンデッドと戦うのは俺たちの間の仕事だ。普通の人間に危険する。どこだ？どこだ？どこにいるんだ？ブレイド。剣崎一馬か？娘は言っていたのはあなた達なんですね。アンデッドを倒せる人間がいるなんて。これはアンデッドじゃありません。アンデッドの犠牲者です。犠牲者アンデッドが人間を殺し、その死体を自分の仲間にして操っている。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 13:08 熱風も。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 13:09 あんたアンデッドハンターの使命。確かにそんななったんなら、はい。ボードでは聞いたことがない名前だ。広瀬、なんとあっちも同じ答えでした。でも、俺の目の前でアンデッドにあいつられた死体を倒したのは確かなんです。太るな。膝の戦いに使うアンデッド。ひどいやつだ。このまま人間になってしまう。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 13:59 そのアンデッドさん。じゃあ、面倒ね。カリスでいい。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 14:17 好きに呼べ。

**说话人1** *00:54*: 说话人2 14:19 あなたに会いたいという人がいるの。ついてこい。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 14:27 そしてどうだ？さすの長者達。也でもいいけど、返品がちょっときついかな。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 15:10 あれも今度のレースに出るマシン、 说话人3 15:15 いや、テスト走行するだけみたい。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 15:17 な。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 15:37 このマシンをお気づきですか？さすがおきゃ、れんたちばのさくや、あなたがしんめいさん、これを見せたくて。私はボールでお見かけしたことありますが、ご記憶ではないでし。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 15:53 ょうね。すごいっすね。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 15:58 ブラックサング。俺たちが釣り上げようとしていた。最高のマシンだ。じゃあ、ボードの？あ、開発中だったライダーマシーンを超えるマシーン、そして我々は、ライダーシステムは別にアンデッド封印する方法を模索するチームだ。それが完成していたのか？試してみますか？参ったな、ブルースペダがまるでついてきないよ。まだまだ。こいつのポテンシャルはこんなものじゃないはずだ。もしこのマシンが俺たちの力になれば、すごいことになりますね。ブルースペーダーレッドランバスに組み込まれたラウスカードシステム、その技術をこいつに加えたい。じゃあ、俺たちのマシンを分析して、そのテクノロジーを参考にすれば、私たちのプラスファンがより完成したものになる。我々の装備として量産します。アンデッドを倒産、アンデッドを封印できるのはライダーシステムだけだ。我々は1時的にアンデッドの数を停止させる方法を見つけました。すごい。そんな方法があるのか？システムは後で詳しく説明します。私たちがアンデッドを捕獲し、あなた達が封印する封印。立花さん、やりましょう。このまま奴らを放っておいたら、人間がどんどん安全ともどきになっちまいます。橘さん。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 18:21 やはり実戦に使われていたマシンですね。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 18:33 システムが実用的に洗練されています。データを通じて、ハグでも使えるようにしましょう。そうすれば、俺たちのマシンを合わせた。いや、それ以上の強さを持つことになる。よし。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 18:42 これでこれですよね。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 18:45 これでどうですか？違いますね。何かワクワクしますよね。最強のマシンか？アンデッドだ。あんたのことは噂で聞いているよ。だけど俺は戦いが嫌いなんだ。よそでやってくれないか？自分で呼び出してみて。それはないだろう。天津、どうしてもやるのか？ 说话人2 20:29 じゃがい。傷ついた時、私が2人の力を。

**说话人1** *00:54*: 说话人3 20:51 もらうに対しても仲間仲間俺をここまで案内させただろう。そうか。あれ、立花さん？ファングはあーシステムを閉じてきたかな？早く知らせたいです。橘さん。

**说话人1** *00:54*: 说话人1 21:52 平井さん。平井さん、しっかりしてください。ブレイザーブレーキしました。パンクの使命が危ない。メンライダーブレインソーダーもない高線なき仲間がいる。マシンは俺のためにある万年とパープさせている。俺は頼ましいよ。絶対取り戻す。。